



目次

- 調査の概要
- 機能と特徴
- 実装品質
- 知覚品質
- ADAS
- インフォテイメント
- ナビ
- 音声認識
- コネクテッド機能
- 利便性

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号: 635

本レポートシリーズでは、インフォテイメント、ADAS、デジタルキー、VPAなどのHMIのUXや利便性を実車評価する。(モデルによっては全ての評価項目を備えているわけではない。)

2021年度の評価対象車種/システム：
Mercedes Benz S Class、CUPRA Formentor、Tesla Model S、Hyundai IONIQ 5 (本書)、Lexus LS、BMW iX、Cadillac Escalade、ほか (※ 対象車種は状況により変更となる場合がある)

レポート番号: 635(21d)



In-Car HMI UX Evaluations

Hyundai IONIQ 5 UX ベンチマーク評価

車両への採用技術が増加する中、搭載システムをユーザーがどのように評価しているかを理解しておくことが非常に重要です。車内UX (ユーザーエクスペリエンス) はブランドの差別化において重要な要素であるだけでなく、長期的な顧客ロイヤルティの確立にも影響を及ぼします。

SBD AutomotiveのUX (ユーザーエクスペリエンス) 専門チームでは、Hyundai IONIQ 5のHMI UX評価を実施しました。IONIQ 5は車内にインフォテイメントとメーターパネルの2つの12.3インチディスプレイを備えており、「紙」をテーマとした魅力的なGUIを提供しています。

ただし、一部のHMIのアプローチには、直観性や簡潔さ、一貫性の欠如や複雑さなど、UXの原則から外れる面も見られました。これらの課題の多くは、ソフトウェアを変更することで比較的簡単に解決できる可能性があります。

対象市場

- 欧州
- 北米
- 中国
- 日本
- グローバル
- その他

レポート発行頻度

- 毎年更新
- 四半期更新
- 年間8車種

レポート形態

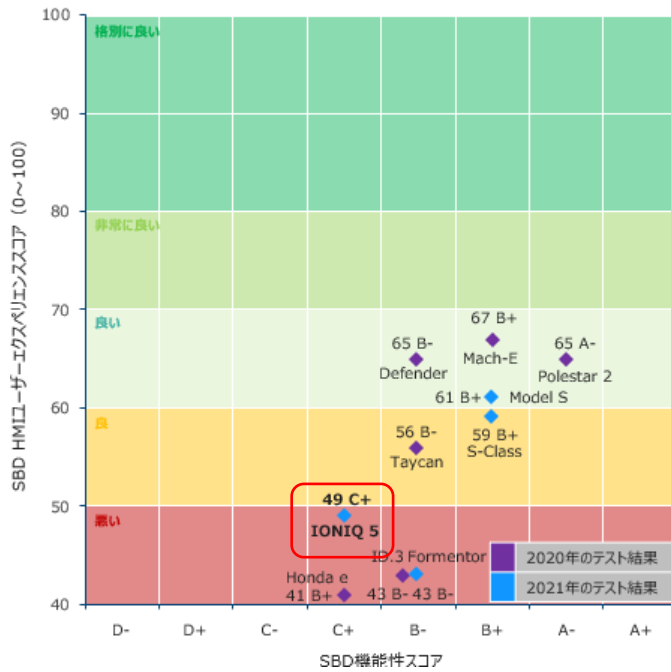
- PDF
- PowerPoint
- Excel
- Online

ページ数

- 140+

お問合せ

ほぼ許容範囲内のシステムであるがWowファクターに欠ける



IONIQ 5に搭載されたインフォテインメントシステムのパフォーマンスは、大半のユーザーの基本的な期待に応えるであろう水準に達している。しかし、ユーザーに新鮮な驚きを与える「Wowファクター」は最小限にとどまっており、提供されているコネクテッド機能のレベルは期待を下回る。

総合的には、特に新世代EVの 카테고리において、本システムは期待される統合のレベルに届いていない。接続性の問題が解決され、競争力のあるVPAソリューション、従来の問題に対する改善、ストーリーミングメディアサービス、充電ステーションの提案に関するよりインテリジェントなアプローチが導入されれば、スコアは大幅に向上するとみられる。

本書では、Hyundai IONIQ 5のADAS、インフォテインメント、ナビ、音声認識、コネクテッド機能のプラス面、マイナス面を詳細に分析する。

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「Hyundai IONIQ 5: UX ベンチマーク評価」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード



Hyundai IONIQ 5
UX ベンチマーク評価

発行年月：2021年10月
レポート番号：CON635-21(21d)